悪質な金融・証券業者に注意！

近年、ヤミ金融業者からの悪質な貸付や未公開株勧誘事案が多発しています。被害に遭わないように、次のことに注意しましょう。

【金融会社】・・・このようなヤミ金業者にご用心！

① **０９０（０８０）金融**～相手が携帯電話と名前しか教えません。ヤミ金です。
② **融資保証金詐欺**～お金を借りる前に「審査料です」「保証金が必要です」「ブラックリスト解除に必要です」などと言って、業者の銀行口座に振り込むよう要求します。
③ **押し貸し**～契約もしないのに一方的に銀行口座に振り込み、高金利を要求します。
④ **違法年金・公的給付担保融資**～公的年金や福祉手当など、公的給付金が振り込まれる口座の預金通帳の印鑑を取り上げて借金の返済にあてさせます。
⑤ **保証料ヤミ金**～お金を借りるときに、保証料を名目に借りたお金の一部を天引きします。
⑥ **買取屋・換金屋**～クレジットカードのショッピング枠を利用して商品・金券などを買わせ、それらを低価格で買い取り現金化します。

【証券会社】・・・こんな「未公開株勧誘」にご用心！

① 聞き覚えのない証券会社からの話ではないですか？
② 発行会社の自己募集形式ではないですか？
③ 金融庁、消費者庁など公的機関からの委託と言いつくろっていませんか？
④ 勧誘を受けている未公開株を、ちょうど他の業者が「高値で買い取る」と言っていませんか？

【相談窓口】

■警察総合相談（警察本部） TEL #9110　■浦添警察署　TEL 098(875)0110
■金融庁（金融サービス利用者相談室） TEL 0570-016811　TEL 03-5251-6811（携帯・PHS）
■消費者ホットライン　TEL 0570-064-370　■日本証券業協会（末公開株通報センター）TEL 0120-344-999

保健師たより

高齢者の肺炎予防

１０月に入ると、暖かい沖縄でも少しずつ秋の気配を感じるようになってきますね。暑さもおだやかになり過ごしやすくなりますが、かぜやインフルエンザが心配される時期でもあります。高齢者の場合、かぜやインフルエンザに続いて肺炎を発症することがあります。肺炎は、感染症への抵抗力が低下してくる高齢者や、呼吸器疾患や糖尿病などの慢性疾患を持っている方がかかった場合、重症化して生命に関わる重篤な状態を引き起こすことがあり、ときには命取りにもなる病気です。また肺炎の治療を受けて治ったとしても、高齢者の場合、体力の低下をきたしてしまい、介護の必要が出てくることもあります。そのため、肺炎にならないように予防していくことが大切です。西原町では今年から、高齢者の肺炎を予防するために「高齢者肺炎球菌ワクチン」の予防接種の公費助成を始めました。７０歳以上の方にはすでに予防接種の通知を送っていますが、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を初めて聞いたという方も多いと思いますのでワクチンについて説明します。

●高齢者肺炎球菌ワクチンとは

高齢者の肺炎を起こす原因菌として最も多いのが「肺炎球菌」という感染症です。「肺炎球菌ワクチン」は、肺炎球菌の約８０％に予防効果があるとされています。１回のワクチン接種で５年間以上の予防効果が持続するため、インフルエンザワクチンのように毎年受ける必要はありません。またインフルエンザワクチンとあわせて接種すると、より効果的に肺炎を予防できます。しかし、肺炎の原因には肺炎球菌以外の病原体によるものもあるため、ワクチンがすべての肺炎に予防効果があるわけではありません。

また、過去５年以内に「肺炎球菌ワクチン」の予防接種を受けたことがある方は、強い副反応が出ることがあるため、予防接種を受けることはできません。副反応が強く出ると聞くと接種を受けるのが怖いと考える方もいると思いますが、肺炎球菌ワクチンは安全性の高いワクチンです。慢性疾患のある方や実際に肺炎を起こしたことがある方は、ぜひワクチン接種をしてください。

●高齢者肺炎球菌ワクチンを受けることが出来る方

☆西原町に住民登録のある７０歳以上の方
既に個別に通知を送っていますので、指定医療機関で接種を受けてください。

☆ 65 歳以上 69 歳以下の方で慢性疾患（心疾患、肝臓疾患、呼吸器疾患、腎不全等）のある方
接種を受ける前に役場への申請が必要になります。詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ：福祉部　健康推進課　TEL 098-945-4791　FAX 098-944-6551

まちの話題

中学生が内間御殿を活用したまちづくりを提案

琉球大学附属中学校の3年生が、西原町のまちづくりについて学習した成果を、8月8日に政策提言として町教育委員会と町議会に対し陳情書を提出しました。陳情に訪れた3年生20人は、内間御殿が文化財として国指定されたことを受け、「内間御殿の整備」をテーマに学習しました。実際に現地を訪れ、グループ学習などを通して地域の課題を検討し、政策の企画立案をまとめた上で陳情しました。生徒たちは、内間御殿周辺は道路が狭く民家が密集しているなどの現状を踏まえ、西原町の主要な観光地にするため、シャトルバスの運行や周辺の木々の整備、石垣の復元などのアイデアを提案。教育委員会で対応した平良利夫生涯学習課長は「地域活性化に向けて、町全体で内間御殿の活用を検討している。すばらしい提案内容で、しっかり検討していきたい。」と応えました。

平成23年度水道週間にちなみ、標語と作文を表彰

町民の水道に対する理解と関心を高めることなどを目的とした「平成23年度西原町水道週間」事業の一環として募集された作文と標語の部の表彰式が９月２日に行われました。各部門とも町内の４小学校から410点の応募があり、最優秀賞１点と優秀賞３点、入選18点が選ばれました。また、最優秀賞の標語作品を用いて懸垂幕が作成され、水道庁舎に掲げられます。（最優秀賞の作品は以下のとおり）

標語の部　「あっ、水の音　こまめに止めよう　明日のため　未来のため」泉川アレックス耀（西原南小４年）
作文の部　「大切な水」與儀汐音（坂田小４年）

泉川くん

與儀さん

私達は、じゃ口をひねるだけできれいな水が「ジャー」と流れ、水を自由に使うことができます。例えば、手を洗ったり、顔を洗ったりすることができます。でも、この水が、どうやってきれいな水になるのか考えたこともありませんでした。

学校の社会の勉強で、水のことを調べるため、西原浄水場と倉敷ダムに行きました。

まず初めにわかったことは、国で管理しているダムは７か所、県で管理しているダムは１か所しかありませんでした。ダムにためている水は、大きな導水管を通り浄水場に運ばれてきれいな水にして、私達の家庭にとどけられています。でも、きれいになるまでいろいろなしせつを通って、きれいにされるのです。

初めに着水井で水の量や水位を調整され、次に、混和池で水に薬品をまぜ、小さなゴミや砂、どろなどの固まりを作り、ゴミなどを早くしずませます。混和池で取りのぞけなかったゴミをとり水をきれいにさせるために、ちんでん池に水を送り、きれいな水にします。それでも目に見えない小さなゴミは、ろか池で砂やじゃりの間を水が通り、ゴミはどんどんたまっていくので、きれいな水ができるのです。また、そこには中央管理室や安全な水かどうかをけんさする、すいしつ試験室があります。いろいろなしせつを通り、より安全な水となって、私達の住んでいる学校や家庭などに送られていくのでおどろきました。その水がなくなってしまうと、どうなるのでしょう。水がなくなってしまうといろいろなことでこまってしまいます。おふろも入れなくなり、トイレ、洗たくもできなくなってしまいます。沖縄は、梅雨時期と台風の時期にかたよって雨がふるため、こう水や水不足などのえいきょうをうけやすくなっています。そのためにダムでは大雨がふっても、一度に流さないようにするため、ダムではこう水調節をしています。ダムの周辺には、必ず森林があります。それは、ふった雨を一度に流さないで、森林の中にとどめる働きがあるからです。木の葉やコケ、土などにしみこんで長い時間をかけてゆっくりと土の中を動き、土の中から水がわき出ます。そうすることによって、こう水の心配もあまりありません。

私が勉強してわかったことは、使い終わってきたなくなった水は、下水しょり場に流され、工場や公園のふんすいなどにさい利用されています。

私は水をむだ使いしないために、おふろで水を使っていない時は水をとめて、歯ぶらしの時はコップですますようにしています。

家庭からの生活排水は水をよごしています。これから私達にできることは、油などは水にとけません。なので、油分の多い皿やなべなどは、古布やペーパーでふき取ってから洗いたいと思います。小動物も生きているすべて、水が大切です。なので、水辺に空きカンやゴミなどで水をよごさないようにしたいと思います。

家庭教育学級を開催しました

西原南小

西原南小学校　第２回家庭教育学級
８月２７日（土）９：００～１３：００

◇実習　「手軽で楽しい親子クッキング」
◆講師　伊是名　カエ（管理栄養士）

ハヤシライスとサラダを親子で作りました♪
下ごしらえをしっかりすると、より一層美味しくなりました！！